

■「スマートシニアライフ事業LINE公式アカウント広報等に関する業務」に係る質問への回答

NO	質問内容	回答
1	運営されている「おおさか楽なび」LINEアカウントに関して、閲覧編集権限などを事業期間中アクセス権限を付与して頂くことは可能でしょうか。	権限付与は可能です。範囲については契約締結後、大阪府との協議のうえ決定します。
2	LINEのお友達登録状況に関して、府内エリア分布（大阪市は何名、堺市は何名など）をお教え頂くことは可能でしょうか。	契約締結後、属性入力者については府内エリア分布の情報提供が可能です。
3	（前回実施の）デジタル広告のターゲティングとその効果（友だち獲得数）	【No.3・4・5・6】 本事業の主なターゲットは府内在住の高齢者ですが、介護を担う年代、退職後の準備に着手する年代も想定して50歳以上と設定し、加えてシニア層の家族も対象としています。 前回のプロポーザル提案を受けて、LINEスタンプの配布や人気の落語家による寄席の配信等を実施し、一定の効果等が出ているところです。
4	（前回実施の）デジタル施策（広告・ポイント付与・クーポンプレゼントなど）	
5	（前回実施の）オフライン施策とその効果（友だち獲得数）	
6	（前回実施の）オフライン施策の告知方法と集客人数	
7	現状のアプリ認知度（府内50歳以上ターゲット）	
8	現状ユーザーのアプリ利用率・利用頻度	

NO	質問内容	回答
9	現状ユーザーのアプリ利用満足度	測定しておりません。
10	アプリからの情報発信頻度	LINE公式アカウント上のメッセージ配信は月2～3回程度です。
11	タレントとのジョイント（相乗り）イベントを行った際、会場費や運営費など一部費用負担をして参加し、今回の施策を展開することは問題ありませんか。イベントの入場料は、タレント事務所の収益となり、私達には入りません。	企画提案の内容により、判断します。
12	イベントを展開する際、どのような場合に不可となるケースがありますか。	例えば、 ・大阪府在住の50歳以上の方をメインターゲットにしていない。 ・実施場所が大阪府域外。 というようなケースは不可となる可能性があります。公募要領や仕様書等を熟読のうえご提案ください。
13	新規ともだち数10万人以上とは、令和5年7月末現在でともだち数が約6万人とありますので、増加させる人数としては約4万人ということで間違いはないでしょうか。 また、現時点のともだち数6万人とは、ブロックされているユーザーを除いた数値でしょうか。	増加させる人数については、4万人以上です。 現時点のともだち数約6万人はブロックユーザーも含んだ数値です。
14	現時点のブロックユーザー数、ブロック率の数値についてご教示いただけますでしょうか。 また、友だち数全体のブロック率60%未満とありますが、現時点のブロックユーザーも含めた上での60%未満という認識でしょうか。	契約締結後、大阪府との協議のうえブロックユーザー数について情報提供が可能です。なお、ブロック率は仕様書p.4に記載のとおりです。 また、目標とするブロック率はお見込みのとおりです。
15	コンテンツの改修などは業務外かと存じますが、コンテンツを活用した企画提案を行う場合、コンテンツを展開している企業様との連携はどの程度可能でしょうか。	契約締結後、大阪府との協議のうえ決定します。
16	これまでに実施されていた広報手法等がございましたら、参考までにご教示いただけますでしょうか。	No.3・4・5・6に記載のとおりです。
17	提案は、（1）「おおさか楽なび」新規友だちの獲得、（2）「おおさか楽なび」友だちの利用者満足度向上、だけでよかったでしょうか。	お見込みのとおりです。

NO	質問内容	回答
18	(1)と(2)だけ提案の場合/そうでない場合においても、「(3) アンケート調査の実施」の実施に関して費用を算出する必要がありますので、調査仕様の明示をお願いします。	調査仕様は仕様書p.2に記載のとおりです。
19	「(1)及び(2)の施策実施前に調査した結果より、施策実施後に調査した結果の満足度が改善されていること」ということは、前後に同じ方に調査を行うことになりませうでしょうか。実施前の方と実施後(LINE登録済)の方をどのように一致させるのでしょうか。調査対象者は、ご提供いただけるのでしょうか。	おおさか楽なびの利用者全体に対して調査を行っていただきます。同じ方である必要はありません。
20	調査対象者は、誰になり、どのような属性区分で、どのように手配するのでしょうか。その方々にどのような調査方法で実査を行うのでしょうか。母数/回収数、割付、実施時期等、調査設計についてお願いします。	調査対象はおおさか楽なびの利用者全体とし、調査設計については大阪府との協議のうえ決定します。
21	調査設計は、どのように考えればいいのでしょうか。調査票は提供いただけるのでしょうか。FAの有無はいかがでしょうか。	No.20に記載のとおりです。
22	集計、分析、レポート(報告書)はどのように考えればよろしいのでしょうか。	アンケート実施にかかる集計、分析をしていただき、仕様書「5(4) 施策実施に関する効果検証報告書の作成」において報告をお願いします。
23	「回収率を高めるよう工夫」ですが、回答インセンティブを提供することでしょうか。個人情報収集することは可能でしょうか。	回答率が高まるような手法の一つとして、インセンティブを提供していただいても問題ありません。必要に応じて個人情報を収集することは可能です。
24	「利用者の定着が見込めるような施策を提案」を企画する際に、提供コンテンツの利用は無償が条件でしょうか。現在、提供されているのと同じく有償でもいいのでしょうか。例えば、提供コンテンツの本商品(実売)を案内(案内ページにリンク)させることは可能でしょうか。	企画提案の内容により、判断します。なお、商品の実売の案内は想定していません。
25	獲得目標数について、①「今回の本プロモーション施策終了時点での目標を「友だち数10万人以上」、②「本施策の終了時点で、ブロックユーザー数を引いた友だち数が3万5千人以上またはブロック率が友だち数全体の60%未満であることを目標」とありますが、①と②双方が目標になりますでしょうか。(双方を達成する)例えば、終了時点で、友だち数10万人/ブロック率55%/ブロックユーザー数を引いた友だち数4.5万人 という結果は目標をクリアしているということで相違ないでしょうか。	①及び②の双方達成を目標としてください。例示の結果についてはお見込みのとおりです。目標数値を上回るような成果が見込まれる積極的な提案をお願いします。